

ねんきん埼玉

2024年12月15日 第349号

全日本年金者組合 埼玉県本部

発行責任者 宇佐美忠利

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-53-16

TEL 048-686-2044 FAX 048-686-2144

メール: nenkinsaitama@kzh.biglobe.ne.jp



2024 「年金一揆／フェスタ」

日比谷野外音楽堂

11月8日、日比谷野外音楽堂で「年金一揆／フェスタ」が開かれ、首都圏から1800人が参加しました。

集会で杉澤隆宜中央本部執行委員長は主催者挨拶で、むしろ旗川柳の最優秀賞の「世直しの導火線なりこの一揆」を紹介し、マク口経済スライド廃止・最低保障年金制度の創設や「物価高を上回る年金引き上げ」を訴えました。

集会では、共催団体の全労連から秋山正臣議長が挨拶（関連記事2面）。日本共産党の吉良よし子参議院議員が来賓挨拶（関連記事2面）しました。弁護団から加藤健次弁護士はミニ

講演を行い、10年間の闘いに触れて「まだ8件の判決がでていない。頑張り」と決意を述べました。

集会では、4都県の代表が決意表明。埼玉県本部からは春日部の矢部県本部執行委員が「現行の健康保険証を残せ」、「年金積立金で年金支給額を増やせ」、国保料



決意表明する 矢部執行委員

や介護保険料と消費税の引き下げなどを訴えました。

決意表明の際には、プラカードコンテストに参加した4支部も登壇し、にぎやかな決意表明となりました。プラカードコンテストでは富士見支部が埼玉県の中で

(次頁に続く)

狼煙

2024.12.15

冷たく透き通った青空にそそり立つ冬木立、葉という葉を振り落とし何ものも脱ぎ捨てて冬越しをしている。それが低温と強風をしのぐ耐寒の姿勢だからという。そこに人間への何らかのメッセージを読み取る人もいないのではないだろうか▼先日、友人Kから分厚い封書が送られてきた。病後の妻の長期にわたる介護記録である。「ツレが子どもにかえる日々」と名付られたその記録には、折々の会話、一人で挑戦した家庭料理、買い出しの様子などが綴られており、ほのぼのとした二人のやり取りからは、Kの優しさと厳しさが溢れていたが、妻の認知症が進んでいく様子も読み取れる▼Kは、「書き連ねることで思いを吐き出し、感想や励ましの言葉をいただくことで心が温かくなる。この記録がいつの間にか私の心のバランス、心の健康を保つためになくてはならぬものになっていくこと、更に私と妻の二人の生活にとってもなくてはならないものになっていく」と。Kは大御所であった物理学の道を閉ざし妻との道を選んだ。▼「老々介護の割合が過去最高」と朝刊に報じられている(八木)

2024年 **年金一揆は朗読劇でスタート**

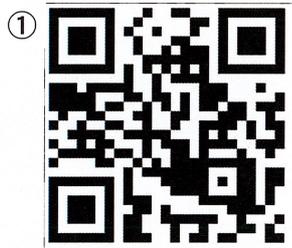
そうだ！ そうだ！ の声が響く



埼玉県本部の「せんしん座」による朗読劇



主催者を代表して挨拶する杉澤中央本部委員長



- ① <https://youtu.be/KEYk3JrrZRY>
- ② <https://youtu.be/KEYk3JrrZRY>
- ③ そうだ！そうだ！の音が響く

最優秀賞を獲得しました。集会後には銀座を通り、東京駅手前の鍛冶橋までパレードで市民や道行く人々にアピールしました。会場内に響く **そうだ！ そうだ！** の大合唱

集會に先立ち文化行事として4都県本部がそれぞれ工夫を凝らした出しものを披露。埼玉県本部は朗読劇で参加しました。この朗読劇はおよそ9分の動画としてYouTubeで見ることが出来ます。

方法：左の①QRコードをスマホでかざして読み込むか、YouTubeの検索機能を使って②のアドレスまたは③の文言を入力しても朗読劇を見ることが出来ます。

「分断をあらゆる政治ではなく、若者から高齢者まで安心して過ごせる社会をつくるのが、政治の責任。力を合わせて新しい政治をつくっていきましょう」と年金の引き上げに向けて共に頑張る決意を述べました。



日本共産党の吉良よし子 参議院議員の挨拶（要旨）



全労連秋山 正臣議長の挨拶（要旨）

今年7月の大会で新たに全労連議長に就任した秋山正臣氏は、年金生活者の実態について、特に高齢女性が一人で生活するのは大変で、生活できる年金の額に引き上げることが必要と述べました。さらに、「改憲を許さず国民の命と暮らしを大切にすることを大前提とする政治を実現させるため自民党政治を終わらせよう」と呼びかけました。



行進する川越支部



壇上でのプラカードコンテストで最優秀賞に選ばれた富士見支部



越生支部のあとに朝霞支部の着ぐるみアース君も参加

秋の仲間増やし月間

150人を超す拡大

組織部長 小久保雅輝

最初に目標を達成したのは

県下で最初に目標を達成したと10月早々に報告のあった小川支部は、「難しく考えない」そして「身近な人を対象に」と訴えました。



二番手は 男の料理で

達成二番手は熊と鹿の肉を使った「男の料理」をふるまい、高い目標をワイルドに挑戦しようとして、女性軍を鼓舞し目標を達成した栗橋支部です。



サークルで 頭下げて

充実したサークル

活動で勢いをつけ拡大を図った鳩ヶ谷、行田支部、東松山支部は目標まであと一人という時に、支部長が普段下げたことがない頭を奥方に下げ、奥様が加入して目標を達成しました。



「選挙中だから忙しくて活動できない」と言うのは言い訳だ。「選挙中だからこそ、より多くの人に会えるのではないか」と多くの人に声掛けをして、目標を達成した菖蒲支部。

また入ったよ!

支部長が目を見詰めて驚いたのは蕨支部でした。組合役員から「また入りまし

たよ」との連絡に携帯電話が鳴りやまず、10人の目標を5人も超過して、あつという間に15人の仲間を増やしたのです。役員だけでなく、組合員に新しく入った人も含めて呼びかきに頑張りました。こんなに一気に増やせたことはこれまでになかったと喜びを隠せません。



グッズの活用を 考えてみよう

各支部から、県本部に次々と報告が上がりました。しかし中々、純増にはつながりません。施設や病院への入所入院、そして逝去された方もあり「増やしても

増やしても増えない」という実情に、ため息の日々でありました。高齢者組織の宿命とは言え、辛いものがあります。



やはり若手の加入が必然です。現役を退いた方をお誘いするとは勿論、年金一揆は勿論、これからは年金を受給する、現役の方の入会が大切なですね。今一度、勧誘手法を考えてみたいと考えました。

・拡大グッズ活用は今のままでいいのだろうか？
・情報発信方法は今のままでいいのだろうか？
・なにか良い方法はないのだろうか？

SNSの発信を 考えてみよう

先の都知事選や、兵庫県知事選を見て皆さんはどう思われ

たでしょうか。驚きの大きな要因の一つに情報の発信方法が、あったのではないのでしょうか。

これまでの発信方法だけでなく、SNS等の活用が目を見張りました。紙ベイスの発信から大きく変わったのです。

「読ませる訴え」から「見せる訴え」への変革です。動画は訴える力が違います。理解させることも早いです。拡散力もすごいです。スピードが違います。そして何より若者に受けられます。

ユーチューブも 発信してます

埼玉県本部は最近宇佐美委員長のユーチューブ動画を発信しました。皆さんご覧頂けましたか？

ユーチューブ検索欄に「宇佐美 訴え」と入れて下さい。宇佐美委員長がユーチューブに登場します。

埼玉県本部、初の試みです。まだ第一歩を踏み出したばかりですから、これからさらに、内容の充実化を図らなければなりません。視聴回数が増えようと努力も必要です。「ユーチューバー 宇佐美ここにあり」と言われるよう拡散しましょう。



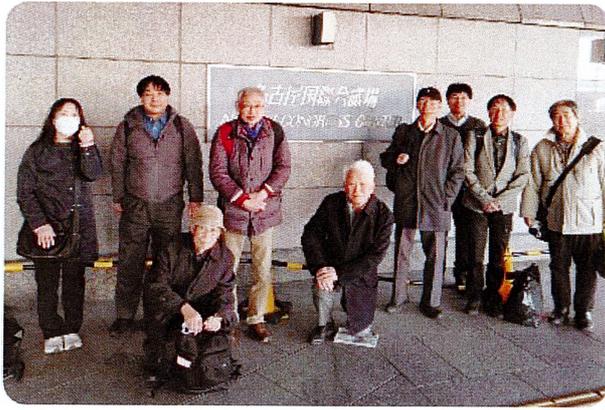
年金者組合を 広く知らせよう

年金者組合を広く知ってもらうため、今やこれまでの手法にとらわれることなく、一人でも多くの仲間を迎えるため、あらゆる手法を用いる年金者組合の存在を知ってもらうよう努めましょう。組合員の若返りを図り、組織拡大に努めさらに発展させ1万人回復に努めましょう。

第37回

日本高齢者大会INあいち

鳩ヶ谷支部 後藤 恵一



日本高齢者大会が「まちから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者を無くそう」をメインスローガンに11月22日、23日の2日間にわたり名古屋市内で、延べ2600人が集いました。埼玉からは年金者

た。ごえ大合唱に大きな元気をもらいました。開会の挨拶で「総選挙で自公政権が過半数割れとなり、新しい局面が始まった」と述べ、高齢者自身の役割はますます大きいです。高齢期の人権

組合、医療生協、社保協の皆様13人が参加しました。毎年の参加ですが、相変わらずの高齢者の熱気に元気づけられました。

オープニングでは、若者たちの「高六太鼓」、そして300人うたいが、医療生協、社保協の皆様13人が参加しました。毎年の参加ですが、相変わらずの高齢者の熱気に元気づけられました。代表の藤井克徳氏が「人権は生きる力。障がい者運動から伝言」と題して記念講演。今回、多くの組合員の皆さんのカンパで高齢者大会の機会を与えてくださいました。お礼を申し上げます。ありがとうございました。

が輝く社会実現へ。年齢による差別を若い世代と連帯してはね返す大会にしよ

賠償責任を

おった時のために

年金埼玉共済会

保険料は300円アップ
年間2、830円
新規契約書の提出先も変更

個人賠償責任保険への加入を

日常生活での賠償事故を補償するのが「個人賠償責任保険」です。

埼玉県では、県内で自転車を運転する場合には自転車損害保険等への加入が義務化されています。取り扱っている「個人賠償責任保険」は、それに対応していま

す。どんな時に給付を受けられるのでしょうか。「排水溝周りのひび割れから水漏れが発生、階下の排水管の錆びつきや内装を損傷して、11万300円の給付」、「子

どもが自転車で転倒、その後ろから自転車で直進していた人が避けきれず転倒してケガをして38万604円の給付」などの実例があります。訴えられるような賠償責任が生じた場合に給付が受けられます。もちろん、弁護士がサポートしてくれま

す。2025年度からの改定で「学校等から貸与されているノートパソコン・タブレット端末等が受託賠償の補償対象となりました。」

4月から発効する「個人賠償責任保険」の契約申し込みは12月からです。保険料が値上げとなっております。また、書類の提出先も全労連共済に変更されました（県共済会ではありません）。

郵便事情が芳しくなく、担当の方は余裕をもった事務作業をお願いいたします。手続き等でお分かりにならない点は県共済会まで連絡をお願いします。

会計担当者会議開催予定

第35回定期大会で提起された、各支部の会計担当者が参加して「会計担当者会議」を行うことが決まりました。

会計実務担当者から支部の活動実態を聞き、問題点を協議いたします。支部長、書記長の参加も可。

日時：2025年2月または3月を予定

続報

'25 新春のつどい

25年の県本部「新春のつどい」が下記のとおり実施予定です。

日時：2月6日(木)

11時～15時

場所：埼玉教育会館

会費：3,000円(昼食・飲み物含む)を予定

参加：各支部2人

内容については実行委員会で検討しています。

◆二〇二五年初夏前進座公演
全日本年金者組合
埼玉県本部賞切観劇会
山田洋二監督の「裏長屋騒動記」が八周年ぶりに「前進座」で上演される。

山田洋二監督 脚本 小野宮金造
出演 岸野 久六 柳 五郎介
長瀬 喜伴 久六 柳 五郎介
岸野 久六 柳 五郎介
岸野 久六 柳 五郎介

2025年6月5日(木) 13時30分開演
池袋 サンシャイン劇場

※チケットの申込みは近日中に開始する予定です

埼玉県本部
貸し切り観劇会
裏長屋騒動記
日時：2025年6月5日(木)
13時30分開演
場所：池袋 サンシャイン劇場
料金：1等A席 7800円
1等B席 6800円
2等席 5400円
3等席 3600円

待って！ その電話！ 詐欺じゃない？

実話

掛かってきた詐欺電話 発信先は海外

県本部事務所です。仕事をしていたら、携帯の未納料金が発生して、このままだと強制解約になると言われました。訴訟最終通知として未納額の内訳を説明され、月1250円で合計1万5千円。ほかに解約違約金5万1千円、遅延損害金を着信履歴をみたら+1866から電話だった。+00は国際電話を表します。1はアメリカ、日本は+81です。また+1

海外と一度も電話をしていない電話なら注意ですよ！

この着信電話が海外からの電話とは気が付かず、折り返しの発信をすると、国際電話に繋がり、多額の料金が発生し、その料金が詐欺集団に渡ることになります。

日本の番号、+81以外はすべて海外のものになりますので、見知らない番号が表示されたら、決して再発信はしないようにしましょう。

海外からの電話がほとんどの人はスマホの設定で、海外からの電話をブロックすることを勧めます。

また見覚えのない電話番号には出ないようにしましょう。いろいろな詐欺まがいの電話が掛かってきています。注意しましょう。

北本支部

作品展3人・バス旅行2人 久しぶりに拡大目標達成

町田 伸吾



「ながめ公園」の菊祭り、「富弘美術館」の鑑賞がメインのバス旅行となりました。

このバスの車中で、両組織の良さを訴えながら、それぞれの加入をお願いしたところ、ご夫妻で来ていた方がその場で加入

11月13日(水)に年金者組合北本支部では、医療生協さいたま北本支部と共催による日帰りバス旅行を実施しました。

医療生協との共催は参加費への補助があることから、それを利用しながら、双方の組合員の拡大を念頭に行った行事でした。

日帰り旅行は、

11月13日(水)に年金者組合北本支部では、医療生協さいたま北本支部と共催による日帰りバス旅行を実施しました。このバスの中で、両組織の良さを訴えながら、それぞれの加入をお願いしたところ、ご夫妻で来ていた方がその場で加入していただきました。また、中部ブロックとして毎年開催している作品展には3人もの方が加入をしていただきました。これで目標は達成ですが、11月になって兼ねてから対象者にあげている方が、映画会にも参加したいと加入を判断し、この月間では6人の拡大となりました。

熊谷支部

第26回生き生き文化展 熟年の青春 わっ! 和、輪になろう

星野 章

10月28日〜29日、市立緑化センターにおいて、第26回生き生き文化展を熊谷市の後援を得て開催しました。

新たな創作活動が厳しいなか支部員と家族、友人などから絵画、写真、絵手紙、切り絵、ちぎり

絵、川柳、短歌、俳句など、1000点を超す傑作が展示され、実行委員と出展者が一緒になって設営しました。



二日目は、埼玉県農民運動連合会会長の立石昌義氏を講師に招き、「埼玉県民の食糧は、埼玉県の土壌から」と題した

学習会を開催し、食料自給率の低下など日本農業の深刻な状況を学びました。

手工芸品の作成、書道・健康マージャンの体験コーナーの設置。毎回好評のバザーは、衣類、食器、古書、木工品、レコード、CDなど多彩な用品が数多く提供され大盛況でした。

平日の開催にもかかわらず、バザーの立ち寄り者も含めて、130人を超える参加者で賑わいました。立憲民主党の森田俊和衆議院より祝電が寄せられました。

自慢の サークル紹介 23 ピンポン 菖蒲支部

笑顔があふれピンポン教室スタートしました。

11月18日は、ピンポン教室のスタート日。



寒さを心配しましたが、室内は熱気ム

ンムン。予想人数を大きく越え、13人もの参加がありました。何十年ぶりにラケットを取り出して、持つてこられたのは木元さん。「念願叶って良かったね」と皆さんから声をかけてもらいました。

楽しく2時間、昔の勘が戻って、皆さん実力披露。「ラリー」も続きました。初めての人も教えてもらいました。片やお喋りに花が咲き、卓球は二の次の方も。

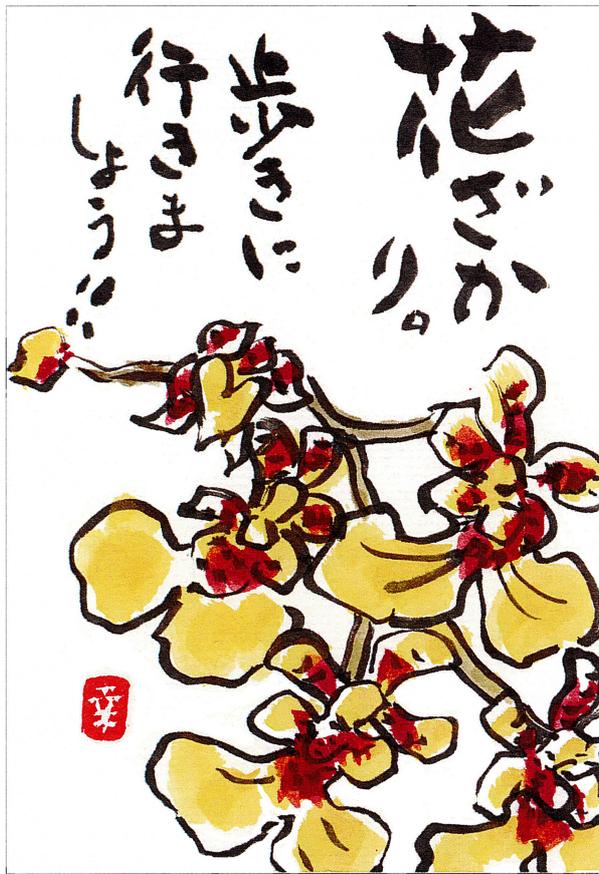
支部長が声をかけ、未組合員も参加。今後に期待です。張り切って参加の柴崎さん。以前怪我をした右足くるぶしを痛めたようです。しつかり治して、参加をお待ちしています。

12月も第3月曜日開催。16日午後、あやめ会館です。

矢島 啓子

今月の絵手紙

吉橋 幸江
所沢支部



支部だより

出前うたごえで

秋の歌を

お届けしました

久喜支部 松井 哲也

11月8日(金) ました。

サークル定番の2

恒寿苑へ3回目の曲(この町から、老

「出前うたごえ」に曲(この町から、老

行きました。いも若きも)に始ま

今回は秋の歌を中がら、「もみじ」を歌

心にうたごえあかつい、「赤とんぼ」「野

きメンバーと応援の菊「旅愁」で秋の雰

方11人で訪問してき囲気に浸り、最後は



「ふるさと」で締めくくりました。恒寿苑での出前うたごえ

老いも若きも

一老いも若きも

集えば笑顔

笑顔笑顔

笑顔の向こうには

明日を紡ぐ

夢が広がる

六十・七十

まだまだ若い

八十・九十

花ざかり

二老いも若きも

語れば見える

見える 見える

語れば

見えてくる

明日に続く

一筋の道が

六十・七十

まだまだ若い

八十・九十

花ざかり

三老いも若きも

つながれば元気

元気元気

元気の向こうには

明日を生きる

力が湧き出す

六十・七十

まだまだ若い

八十・九十

花ざかり

年金文芸

短歌

起床後はシートを伸ばし敷布団

必ず三つ折り袴田巖氏

金井 和光(富士見)

もっくもく入道雲と蝉の声

吹く風ちよつと秋めいたかな

池田 さき子(坂戸・鶴ヶ島)

たくさんの胡瓜と茄子を玄関に

届ける友は九十五歳

古川 利子(熊谷)

俳句

稲刈り機 老農一人 彼岸花

宮田 とき子(上尾・伊奈)

ゴーヤ揺れる ひとりぼちと 呟るか

山田 夢子(越谷)

予約した 本屋に急ぐ うろこ雲

氏家 アサ(川口)

川柳

新しいハテナがわいてくる 老後

ひまつぶし(朝霞)

旅支度 先立つモノが まだ足りぬ

長若哲ちゃん(秩父)

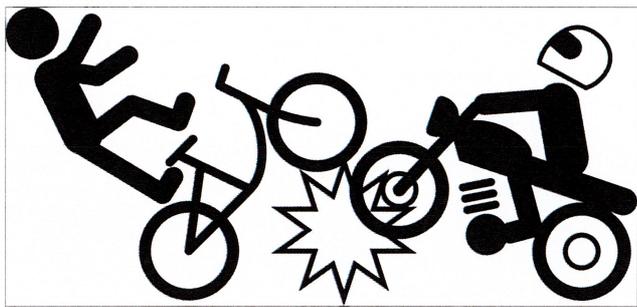
減反 離農しっぺ返しよ 米不足

青山 悠(浦和)

入ってよかった共済

組合員〇さんの長男(40)さんが、バイクで通勤途中原付自転車と衝突。頸椎骨折、全身打撲での入院と、退院後6回通院した。

長男さんも交通共済に10口加入(掛金年間6,000円)していたので交通事故証明、診断書、同意書を揃えて給付申請した。11月



7日に210,000円が共済給付金払込先で指定した口座に振り込まれると〇さんに報告したところ、「ありがとう、ありがとう。良かったよ、正月をどうしようかなあと思っていた」と何回も何回もお礼を言われた。

金橋 孝男 松伏支部 共済担当

専門部だより

教宣部

◆ねんきん埼玉の編集について

「ねんきん埼玉」の編集部体制が前書記長の退任に伴い変更になりましたが、基本的な編集方針は従来から変更はありません。

貴重なご意見をいただく機会がありますが、今後もこの方針に基づき紙面づくりをすすめてさせていただきます。

編集方針

- ・埼玉県内各支部の活動を広く報せる
- ・県本部が取り組む事案、その活動結果等を県内の組合員に「ねんきん埼玉」を通じて報せる
- ・中央本部の「年金しんぶん」発行日(毎月15日)に併せて発行する
- ・資料としても後世に残せる紙面をつくる
- ・読まれる紙面づくり

追加(この秋以降、新編集部になってから)

- ・みんなが楽しんでいる記事、連載を掲載
- ・紙面を作成する人材の育成、紙面づくりの協力者を募る

教宣部長(編集長) 町田伸吾

女性部

女性差別撤廃委員会 報告会

10月、国連の女性差別撤廃委員会がイス・ジュネーブで開かれ、日本政府のジェンダー平等政策についての取り組みが審査されました。女性の人権に関する「世界の憲法」にて「女性の雇用環境の整備」「政治分野における男女共同参画推進法の強化」「夫婦別姓」など広範囲にわたり状況を改善するよう厳しい総括所見及び勧告が出されました。

私たちは政府に対し勧告を順守するよう求める運動を、次代を担う若者たちと共に強めていかなければなりません。年金者組合中央本部では2名の代表を派遣し、その報告会が12月3日に行われました。

今月の簡単手料理

出汁いらずの肉じゃが 減塩でヘルシー

今月も作りました

先月号でご紹介した「肉じゃが」を県本部の一室をお借りして、教宣部で実際にレシピ通りに作ってみました。



エプロン姿がお似合いの編集長

- 調理タイム
- ① 材料の下ごしらえ。
 - ② ジャガイモ、玉ねぎ、人参を一口大に切り、大き目の鍋に材料を入れます。
 - ③ 調味料を計り鍋に投入。
 - ④ 弱火にして煮込むこと20分。部屋中に肉じゃがの匂いが充満。
 - ⑤ あー、良い香り!

試食タイム

やってきました。試食タイム。美味い! 出汁を使わずに。でも何か足りない? ソウダ! 百薬の長もあれば! 次回のお題はなんだろう?!